

日本共産党 三郷市議団の

一 般 質 問

後谷小・前間小の 学校統合問題



深川 ともか
TEL 070-2209-7907

2024年4月から後谷小と前間小が学校統合されますが、大型車両の交通量が多い県道三郷松伏線を児童が横断することに不安の声が寄せられています。通学路の安全対策をどう確保するのか質問しました。

学校教育部長は信号機（前間小の西側の正門前に歩行者用）の設置について埼玉県警と協議を続けていると答弁しました。深川議員は周辺道路の開発により車の流れが大きく変わると指摘し、安全対策を強く求めました。

さらに後谷小の廃校後、

避難所としての機能はどうなるのか質問し、危機管理監は避難所運営の観点からは後谷小は地域の避難拠点、物資の供給拠点として引き続き機能を維持することが望ましいと考えている。避難機能を維持できるように調整を図っていくと答弁しました。

その他に広島・長崎へ平和大使の派遣・夏休み中の児童クラブで昼食提供・エアコン購入費用助成制度などを求め質問しました。

介護保険制度を 持続可能なものへ

— 共産党賛成 —

医療機関や介護施設などから提出された請願書は、来年度改定の介護保険制度の介護報酬（施設サービスの単価など）を引き上げて①利用者のご家族が安心して利用できること。②介護事業所などが継続してサービスが提供できるよう、国に意見書を提出してほしいというものです。

市議団は、制度創設以来、介護報酬単価が引き下げられてきたこと。介護従事者の給与をはじめ処遇改善が不十分なため、担い手不足は深刻になっていること。来年度の制度改定は、報酬単価の引き下げ路線を見直し、介護保険が持続可能な制度となるよう国に求めることを要望し、各議員の賛同を訴えましたが、他の会派議員の賛成は得られませんでした。

請 願 第 2 号	会 派 別	賛 否
介護報酬のプラス改定を求める意見書を国に提出することを求める請願	日本共産党	賛成
	政 志 会	反対
	21世紀クラブ	反対
	公 明 党	反対
	ネットみらい	反対
	みんなの三郷	反対

市民運動会の 開催について



佐藤 ともひと
TEL 080-6851-1606

市民の健康と運動は大変人気があり、日頃より健康増進のためにウーキングなどが日常的に行われている。

市民参加型の運動会について、きちんとご案内を自治体が管理し、気軽に参加できる市民運動会が開催できるよう連携した支援が必要ではないか？

例えば、近年、全国的にはテラノサウルスレースというイベントが開催されている。アメリカ発祥とされるテラノサウルスの着ぐるみを着て競争するもので、日本でもSNSなどで話題になっている。地域に住んで

る住民が気軽に参加でき多くの人々で賑わいを創出している。

①みさと市において類似イベントや市民運動会を開催してみても？地域振興部長に伺う。第65回三郷市民体育祭をこの度、開催することになりました。

②地方自治法には、最小の予算で最大限の効果を出すことが第2条14に記載されている。創意工夫のアイデアで貧富の差なく誰もが参加できるよう努めるように期待すると要望。

その他、労働問題、福祉問題など。

教職員の長時間 労働の改善を



工藤 ちか子
TEL (FAX) 958-8821

文部科学省は、昨年度に「教師の勤務実態に関する調査」を実施し、今年4月に速報値を公表。これを受けて中央教育審議会特別部会では「・・・いまだに厳しい環境に身を置く教師の存在が確認されている。着手できることは直ちに行う姿勢が極めて重要」などの発言があり、教員の働き方改革に向けて8月に緊急提言をまとめています。

工藤議員は、本市では教員の多忙化解消に取り組んできたがその効果をどのように見ているのか？緊急提

言にどう対応するのか？質問しました。

時間外労働の教職員は令和4年は前年度比で9%削減したものの、現在は、埼玉県の働き方改革基本方針で示した「月45時間以上」が224名いることがわかりました。また、緊急提言でも示した、時間外労働の要因となっている授業時数の見直しに取り組むとの答弁がありました。

他に、マイナ保険証の対応・温室効果ガスの削減、内水被害の改善を、避難所に女性の視点を、など。

